

2011

5

ひがしまつしま

- 特集 再興への道P1~P3
- City ViewP4~P5
- 知っ得情報P6~P8

大曲浜の海を見ながら決意を固める矢本
 浅海漁業研究会の(左から)相澤太^{ふとし}さん、櫻井
 健太^{けんた}さん、相澤裕太^{ゆうた}さん、津田大^{ひろし}さん(県漁協
 矢本支所前の岸壁で)



みんなのママと力をひとつに

特集

再興への道

沿岸部に住む私たち。その暮らしは、古くから海とともにありました。豊かな海が育んだ新鮮な海産物は、私たちの誇りでもありました。

でも、あの日。穏やかだった海は牙をむき、大きな黒い塊となって、街を、人々の暮らしを一瞬で奪い去ってしまいました。たくさんの人が涙を流し、今もなお癒えることのない深い悲しみを抱えたままです。

それでも生かされた私たち。互いに励まし合いながら、必死に「再興への道」を探しています。長い道のりになるでしょう。でも、あきらめずに力を合わせれば、きっと、ふるさとの街並みを、震災前の活気あふれた暮らしを、取り戻すことができる。そう信じる人々がいます。

それでも海へ 産業守る漁業者たち

情熱と志を持って努力を続けてきた漁業者の多くが、津波で大きな被害を受けました。それでも仲間と支え合いながら、築き上げたブランドを復活させようと、動き出した団体があります。矢本・大曲浜ののり養殖業者でつくる「矢本浅海漁業研究会」と鳴瀬・東名地区のカキ養殖業者でつくる「県漁協鳴瀬支所カキ部会」。2団体の再生に向かう取り組みを特集します。

情熱の灯絶やさず 大曲浜の「のり」づくり再開目指す

情熱の灯絶やさず

矢本・大曲浜ののり養殖業の後継者でつくる「矢本浅海漁業研究会」。津波で大きな被害を受けながらも、地域に根差した産業を守ろうと若者たちが取り組みを始めた。いつかまたこの海で最高ののりを作りたい、その情熱は海を照らす灯台の明りのように人々に勇気を与えてくれます。

「もう一度、この海でやりたい」。4月19日(火)、集まった4人は、あらためて互いの意志を確認しました。「うまくいく保証なんてどこにもない。でも海に可能性があるなら挑戦したい。ただそれだけなんです」。リーダーとして仲間をまとめる相澤太さん(31)は熱く語ります。研究会では、比較的経費のかからないワカメ養殖などを共同で行い、少しずつ資材をそろえてのりづくりを再開させたい、そんな構想を描いています。

「献上のり」で繁栄

のり養殖の産地として知られる大曲浜。品評会では



▲損壊した岸壁で、これからの方向性を確認し合うメンバー。自宅も流され、避難所や親類宅などみんな離れた場所から通っています

後継者たちの決意

「おやじの遺体を見て誓ったんだ。必ずのりを復活させるからって」。櫻井健太さん(30)の父は、船を心配して海へ向かい、帰らぬ人となりました。あの津波を経験した後ですが、海へ

6年連続で頂点に立ち、「皇室献上のり」の栄誉も手に入りました。歴史の中で築き上げた高い品質は漁業者の努力の賜物。その情熱と高い技術は父から息子へと代々受け継がれてきました。しかし、今回の津波で浜は壊滅。たくさんの資材を一瞬で失ってしまいました。

の恐怖はないと言います。父から受け継いだ誇りを胸にまたこの海で生きていきたい、それが櫻井さんの願いです。同じように相澤裕太さん(24)の父も船を見に行つて亡くなりました。「もっともっと勉強して父の分までやり遂げたい」と裕太さん。あの日、危険を承知で海へ向かった父の気持ちに報いるよう、立ち上がることを決意しました。

一方、津田大さん(24)は、陸での安定した仕事を望む家族と自分の夢との間で決断ができません。海の事は先行きが不透明。漁師は小さいころからの夢でしたが、妻や子のために、自

不屈の精神で挑戦

「のりだつてワカメだつて、情熱があればきつといものができるはず」と太さん。まずは資材集めから始め、10月末ころから本格的な作業に取り組む計画です。「好きな海で仕事に打ち込めば、きつと楽しくなるはず」。若者たちはともに支え合いながら、不屈の精神で新たな挑戦を始めます。

分が進むべき道を模索しています。

矢本浅海 漁業研究会



▲「祖父の代から受け継いできた養殖技術は絶対に途絶えさせない」と、意気込む矢本浅海漁業研究会メンバー

海の可能性を信じて挑戦したい

●インタビュー

相澤 太さん (31)

矢本浅海漁業研究会副会長



手をかければかけた分、良いものが獲れる、そんなのりづくりに喜びを感じ、打ち込んできました。自分は漁業をやるべくして生まれてきたと思うほど、海の仕事が好き。この海に可能性があるなら、とにかく挑戦したい。うまくいく保証はないけれど、自分たちでやれることをやってみようという気持ちでいます。家族のためにも必ず成功させたいです。のりの養殖業を再建するにはまとまった資金が必要になるので、まずはワカメの養殖と定置網で資金を蓄え、いつか必ず大曲浜ののりを復活させたいと思います。



宮城県漁協
鳴瀬支所
力キ部会

使命感 力キ

東名の力キに懸ける男たち

▲東名の力キ復活を目指して動き出した
県漁協鳴瀬支所力キ部会のメンバー



▶組合員一丸となり養殖棚を組むための竹
を船に積み込む

力キ産業守るため

東名地区の県漁協鳴瀬支所力キ部会(渡辺茂部会長)は、力キの母貝を育てて稚貝(種ガキ)を出荷しようと組合員共同での作業に乗り出しました。東名は種ガキの供給地。全国の養殖業者が東名の種ガキを待ち望んでいるのです。渡辺部会長は「種ガキの供給は私たちの使命。全国の産地へ、なんとかして東名の種ガキを送り出したい」と意気込んでいます。仲間たちも同じ思いで連日の作業に励んでいます。

失意の中の光

今回の津波で多くの漁業者が船や資材を失いました。

長年の経験生かし

4月16日(土)の朝、JR仙石線陸前大塚駅の東側にある力キ処理場に組合員らが集まりました。約1時間かけ、新しい力キ棚を組むための竹400本を船に積み込む作業を行いました。湾内には多くのガレキが沈んでいるという中で、今後は海底の様子を見ながら全長7mを超える竹を差し込み、力キを育てる「垂下棚」(力キ棚の一種)を組んでいきます。同支所では5月中旬までに、松島湾内に20台以上の棚を用意し、力キを育てます。

その損害はあまりにも大きく、組合員はみな氣力を無くしていたそうです。一方で、わずかですが生き残った力キを見つけることができました。これを母貝として育てていけば、再起を図れるかもしれない。そう考えた渡辺部会長らは知恵を出し合い、「残った資材を使って共同でやってみよう」と仲間たちに提案、23人の組合員が賛同してくれました。

漁場に自信と誇り

鳴瀬川、吉田川が注ぐ豊かな漁場で育てた東名の力キは、全国に誇る地域の産物です。生き残った力キがどれだけの大きさに育ち、どのくらいの卵を持つのかは、この仕事を長年続けてきた渡辺さんたちにも分かりません。まさに手探りの挑戦です。そんな中、マリニア松島水族館から同部会に母貝の無償提供の知らせが舞い込みました。その数が2千個。こうした後押しも活動に弾みをつけます。

「今年の夏、順調に種ガキが取れたら売れるようになる」と話すのは、県漁協鳴瀬支所運営委員会の仙石和男委員長。もし今年順調にいかなくても、来年の夏には、必ず稚貝が取れる状態にしたいとのことでした。

渡辺部会長は、「津波以前の状態に戻すには5年、10年かかると思うが、なんとか力を合わせてがんばっていきなさい」と、東名の力キ復活へ向けて決意を固めていました。

●インタビュー

渡辺茂さん (60)

県漁協鳴瀬支所力キ部会部会長
(県漁協力キ部会副部会長)



仲間とともに困難を乗り越えたい

今回の津波の被害は、言葉では表現できないほど大きなもので、私たちは多くの資材を失いました。でも、私たちの力キは種ガキとして全国に流通しています。東名がダメになると日本の力キ生産量は半分ぐらいに減ってしまう。だからこそ、わずかでも残った力キを育て上げ、何としても東名の力キを復活させないといけない、そんな使命感に燃えています。気落ちしていた仲間も、共同でやるとなったら、やる気を出してくれました。大変な状況ですが、なんとか、みんな乗り越えていきたいです。

東松島ののりと力キ

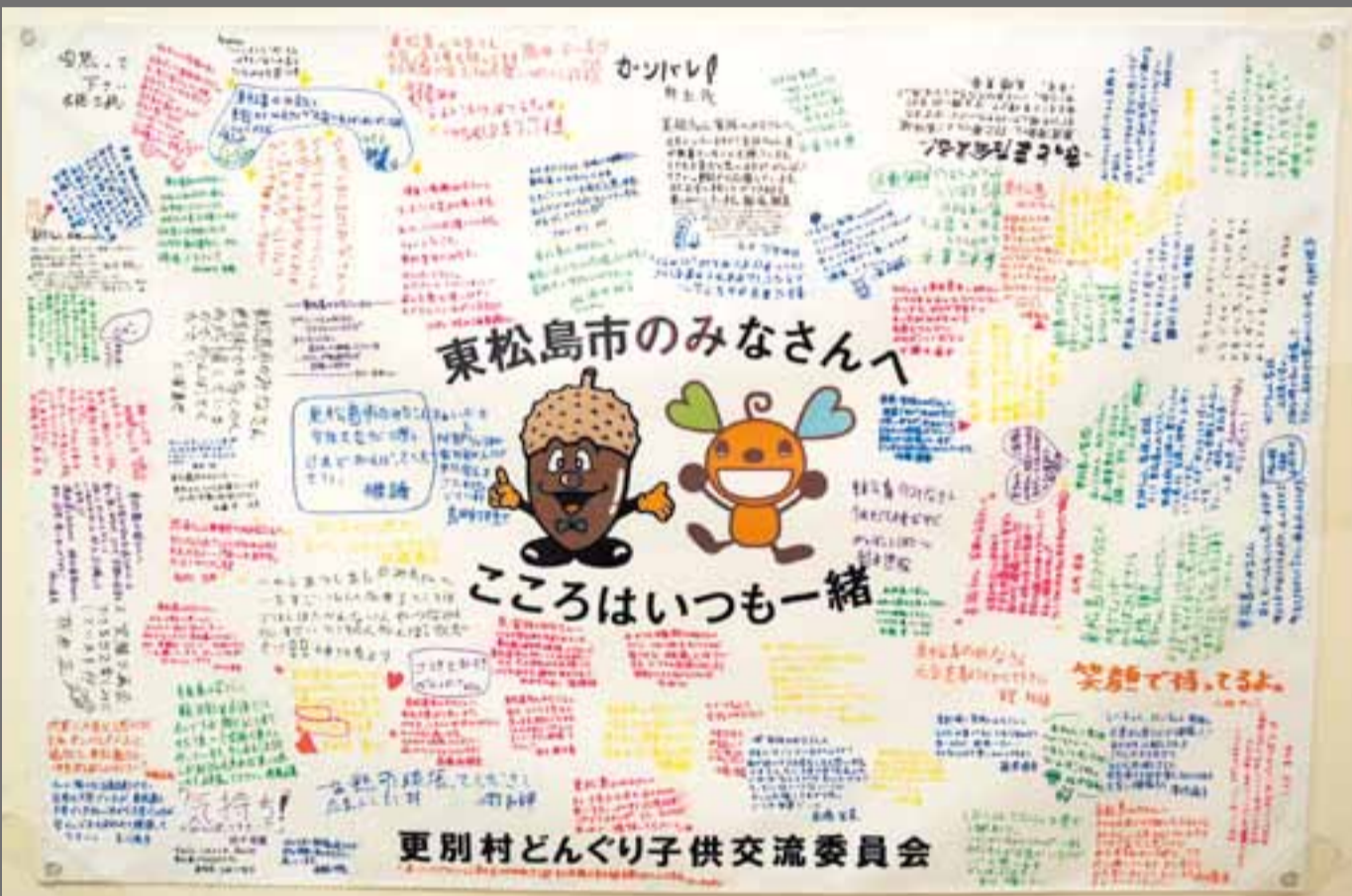
【のり】 東松島市大曲浜・宮戸ののりは、品評会で何度も優勝するなど高品質で、皇室に献上されています。色と光り具合、香りも風味も申し分ないと大評判です。大曲浜では年に3回沖に出して育てる「3期作」をはじめ、農林水産大臣賞も受賞しています。

【力キ】 鳴瀬川、吉田川の栄養分たっぷりな淡水と海水が混じり合う絶妙な環境で育てた奥松島(東名・宮戸)の力キは、肉厚で身も大きく締まっています。そのおいしさは全国の食通をうならせるほど。漁師の努力と環境が育んだ極上品です。





災 害対策本部で更別村からの第一陣支援職員と復興への決意を誓う
まこと
 (4月15日、市長左側神原誠さん、市長右側
ひでき としひろ
 渡辺秀樹さん、八木俊宏さん)



更 別村の子どもたちからの寄せ書き。東松島市へ思いを込めて
 (4月17日、本庁舎1階廊下に展示中)



大 曲浜地区で、重機を使った本格的な
 捜索活動を実施(4月18日~30日)

復興への 思いをつなげよう!



愛 知泉瀬戸市から食卓用瀬戸
 物一式(茶碗や湯飲みなど)
 4000セットの支援をい
 いただきました(4月21日、災害
 対策本部にて写真右 瀬戸市
 交流活力度部長山田辰巳さん)



福 岡県職員15人が支援に来市(災害総合案内など)
 の窓口支援をいただきました(3月29日)



野 蒜駅の駅舎をふさいだ流木やガレキを取り除く在日アメリカ陸軍の
 隊員たち(4月21日)



日 本赤十字社広報特使を務める女優の藤原紀香さんが避難所を訪問しました
(4月13日、市コミュニティセンター)



大 勢の親子が久しぶりの入浴を楽しみました
(4月13日、ゆづと無料開放初日)

2011年 入学式

◀教科書や記念品の黄色い帽子が贈られ、受け取る新入学児童代表。自然と笑みもこぼれます
(4月21日)

▼ちよっぴり緊張した様子で記念撮影に臨む新入学児童。これからどんな学校生活が始まるのか、期待も膨らみます(4月21日)



野蒜小入学式 [市役所鳴瀬庁舎3階]



ま ちの再生と、みんなの元気と勇気を与えるため蔵しっくパークでは鯉のぼりを掲揚(4月1日～、蔵しっくパーク)

入学式

おめでとうございます

暖かな日差しが降り注ぐ中、例年より少し遅れて入学式が行われました。晴れてこの日を迎えた新1年生たちは、みんな元気いっぱい。大きな希望を胸に、新しい一歩を踏み出しました。保護者も、わが子の成長に目を細めていました。

大曲小入学式

〔大曲小学校講堂〕



◀八木智毅さんが新入生を代表して決意を述べ、「今日を大きな節目として前進したい」と語りました
(4月22日)



鳴瀬二中入学式 [鳴瀬第一中学校講堂]



完

成に向けて急ピッチで工事が進む応急仮設住宅(4月21日、ひびき工業団地)



子

どもたちと笑顔で触れあう歌手の大黒摩季さん
(4月13日、市コミュニティセンター)

障害者福祉タクシー券の交付

障害者福祉タクシー利用助成券(1年分24枚)の交付を行います。

■対象者

身体障害者手帳(1級・2級)、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳を所有の方 ※施設入所者や長期入院の方は対象になりません。

■交付要件 市内に住所を有していること

※市外の避難所にいる方も対象です。

■目的 日常生活の利便向上などのための利用

■受付日程

地区名	日時	場所
矢本・小松	5月18日(水)	東松島市役所 1階
赤井・大曲・大塩	5月19日(木)	101会議室
鳴瀬	5月20日(金)	鳴瀬庁舎

■必要なもの

障害者手帳、印鑑(震災により手帳などを流失や破損された方は、住所・氏名などを確認し交付します)

■問 福祉課障害福祉班 ☎1178~1179・1191

郵便局への「転居届」を忘れずに

郵便物の確実な郵送のために、新しい転居先または避難先に引越した場合、郵便局への「転居届」が必要です。郵便物の転送期間は、届出から1年間です(期間延長は可)。

■「転居届」の届出先

お近くの郵便局で「転居届」に、新しい転居先または避難先などを記入して直接窓口へ提出または郵送。郵便事業株式会社ホームページ「e転居」からも申し込みできます

■届出の際に必要なもの 1. 印鑑 2. 本人と確認できる書類(運転免許証、各種健康保険証など)

■問 郵便事業株式会社石巻支店(石巻郵便局内) ☎95-4051・95-4055

鳴瀬郵便局 ☎87-2160 大塩郵便局 ☎82-4195

郵便事業株式会社ホームページ「e転居」 <http://welcometown.post.japanpost.jp/etn/>

相談窓口一覧

	相談窓口	開始時期・日程	開設場所	問い合わせ先
1	災害相談・総合案内	開設中 9時~17時	本庁舎1階正面玄関ロビー	災害対策本部 ☎内線1437・1438
2	安否確認・避難先(避難所以外)情報の収集	開設中 9時~17時	本庁舎1階正面玄関ロビー	災害対策本部 ☎内線1437・1438
3	全国避難者情報システム受付	開設中 9時~17時	本庁舎1階正面玄関ロビー 鳴瀬総合支所窓口	災害対策本部 ☎内線1437・1438
4	防災無線家庭用受信機交換 ※旧矢本町地区用の受信機は在庫なし	開設中 9時~17時	防災交通課(本庁舎2階)	防災交通課 ☎内線1163
5	り災証明書・被災証明書交付	開設中 9時~17時	震災復旧対策室(本庁舎2階)	震災復旧対策室 ☎内線1422~1425
6	避難所相談窓口	開設中 9時~17時	市民協働課(本庁舎2階)	市民協働課 ☎内線1284
7	被災車両引き渡し・廃車相談	開設中 9時~17時	東部運動公園 (☎090-4755-0057)	災害対策本部 ☎内線1437・1438
8	被災地拾得物の返還窓口	5月3日~ 5月20日 9時~12時	貴重品=小野保育所 写真・位牌 =西福田地区体育館 金庫・高額現金 =石巻警察署	災害対策本部 ☎内線1437・1438
9	司法書士出張相談(予約不要)	5月中は 毎週金曜日	本庁舎西側プレハブ	総務課 ☎内線1217
10	震災ゴミ相談	開設中 9時~17時	環境課(本庁舎1階)	環境課 ☎内線1151
11	軽自動車税・廃車手続き相談	開設中 9時~17時	税務課(本庁舎1階)	税務課 ☎内線1138
12	住民税申告・市税相談・市税減免受付	開設中 9時~17時	税務課(本庁舎1階)	税務課 ☎内線1139
13	納税・納付相談	開設中 9時~17時	納税推進課(本庁舎1階)	納税推進課 ☎内線1141
14	応急仮設住宅申込み追加受付	5月2日まで	福祉事務所(本庁舎1階)	福祉課福祉総務班 ☎内線1172~1174
15	災害弔慰金・災害見舞金	開設中 9時~17時	福祉事務所(本庁舎1階)	福祉課福祉総務班 ☎内線1172~1174
16	災害援護資金貸付の申請受付	開設中 9時~17時	本庁舎福祉事務所	福祉課福祉総務班 ☎内線1172~1174
17	医療・健康相談	開設中 9時~17時	矢本保健相談センター	健康推進課健康推進班 ☎内線3105
18	災害義援金の交付申請受付	調整中	調整中	福祉課福祉総務班 ☎内線1172~1174
19	手話通訳員巡回	5月10日まで	市内避難所巡回	福祉課福祉総務班 ☎内線1178・1179・1191
20	ボランティア相談(受入・依頼)	開設中 9時~17時	矢本保健相談センター2階	市社会福祉協議会 ☎83-5001
21	教育相談・就学援助助成・幼稚園保育料減免申請受付	開設中 9時~17時	学校教育課(本庁舎2階)	学校教育課学校教育班 ☎内線1272
22	東北防衛局住宅防音工事関連相談	開設中 (毎週火・木・土曜日)	企画政策課(本庁舎2階) (今後場所変更あり)	防衛省東北防衛局防音対策課 ☎022-297-8216
23	年金相談	5月中は開設 予定、平日9 時~16時	市民室(本庁舎1階)	日本年金機構被災者専用 フリーダイヤル ☎0120-707-118
24	宮城県総合窓口	開設中 9時~17時	宮城県東部地方振興事務所 県民サービスセンター	宮城県東部地方振興事務所 県民サービスセンター ☎93-5700
25	県税相談窓口	開設中 9時~17時	税務課(本庁舎1階)	宮城県税務課 ☎022-211-2323
26	母子・寡婦福祉資金貸付	開設中 9時~17時	宮城県東部保健福祉事務所	宮城県東部保健福祉事務所 ☎95-1416
27	養育医療・育成医療申請受付	開設中 9時~17時	宮城県東部保健福祉事務所	宮城県東部保健福祉事務所 ☎95-1416
28	住宅応急修理申請受付	開設中 9時~17時	震災復旧対策室(本庁舎2階)	震災復旧対策室 ☎内線1422~1425
29	被災者生活再建支援金申請受付	開設中 9時~17時	震災復旧対策室(本庁舎2階)	震災復旧対策室 ☎内線1422~1425
30	被災家屋解体・撤去受付	5月9日~	本庁舎西側仮設プレハブ 鳴瀬総合支所	環境課環境班 ☎内線1151~1156

図書館・蔵しっくパーク・奥松島縄文村歴史資料館 休館のお知らせ

現在、図書館・蔵しっくパーク・奥松島縄文村歴史資料館では震災の被害を受けた建物や設備の修繕を行っています。開館の見込みがわかりましたら、市報やホームページなどで、お知らせします。

■問 ●図書館 ☎82-1120

URL <http://library.city.higashimatsushima.miyagi.jp/docshp/>

●蔵しっくパーク ☎84-1770

URL <http://www.kurappa.jp/>

●奥松島縄文村歴史資料館 ☎88-3927

URL <http://www.satohama-jomon.jp/>

「全国避難者情報システム」の受け付けを開始

東松島市内に避難している市外の皆さんへの重要なお知らせです。

避難元市町村および避難元都道府県では、その区域外に避難した方々への見舞金などの各種給付の連絡、国民健康保険証の再発行、税や保険料の減免・猶予・期限延長などの通知や情報提供を行うため、区域外避難者の所在地等を把握する必要があります。

そのため、総務省では「全国避難者情報システム」の運用を開始しました。

東松島市では、4月25日(月)より市内に避難された市外の方からの情報提供の受け付けを始めました。

本庁舎1階総合窓口または鳴瀬総合支所窓口で用紙を備え付けていますので、記入の上、窓口へ提出ください。

■問 災害対策本部(防災交通課防災交通班) ☎内線1161

被災地拾得物の返還

■返還受付期間 5月3日(火)~20日(金) 毎日

●貴重品関係

■公開時間帯 9時~正午

■場所 小野保育所(小野字中央38番地2)

●写真、位牌関係

■公開時間帯 9時~15時

■場所 西福田地区体育館(西福田字古堂26番地)

■問 防災交通課防災交通班 ☎内線1162・1163

休日診療担当医院表

9時~17時まで

月日	医院名	電話
5月1日(日)	ししど内科クリニック	83-8830
5月3日(火)	加藤医院	82-2030
5月4日(水)	永沼ハートクリニック	82-6680
5月5日(木)	藤野整形外科	83-2121
5月8日(日)	みやぎ東部循環器科	82-9930
5月15日(日)	やもと内科クリニック	98-3260
5月22日(日)	いしがき・みみはなのどクリニック	84-1187
5月29日(日)	ひかりサンテクリニック	84-1333
6月5日(日)	石垣クリニック	83-7070

月日	薬局名	電話
5月22日(日)	ひまわり調剤薬局	83-8075
5月29日(日)	和薬局	84-2711
6月5日(日)	ハーブ調剤薬局東松島店	84-1611

※救急医療機関として、市内では、真壁病院☎82-7111、仙石病院(泌尿器科、脳神経外科)☎83-2111が24時間体制で救急患者の診療にあたっています。また、石巻圏域では、石巻赤十字病院☎21-7220が、24時間体制で救急患者の診療にあたっています。診療が必要な場合は、電話確認をしてから受診されるよう注意願います。

知っ得情報

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111

震災による被災家屋解体・撤去のお知らせ

東日本大震災とその余震により被災した家屋の解体および自宅敷地内に流入したガレキなどの撤去を行います。

■対象 東日本大震災の地震、津波ならびにその後の余震により「全壊」あるいは「大規模半壊」の判定を受けた建物および自宅敷地内に流入したガレキなど

■受付日時 5月9日(月)～ 9時～17時

■場所 本庁舎西側仮設プレハブ、鳴瀬総合支所

■解体などの経費 全額市が負担

※あくまでも個人の財産であることから、解体については本人からの申し出により行うこととなります。

■申請に必要なもの (1)印鑑(認印で可) (2)り災証明書(写しで可) (3)本人確認書類(例:自動車運転免許証など) (4)本人または同居家族以外の方が申請する場合は委任状 (5)被災写真(2～3枚程度)

※印鑑・確認資料・写真などが無い場合は、その旨申し出ください。

■実施時期 5月中旬ころから順次行います

■その他 基礎から離れ流出した家屋については、申し出が無くても解体する予定です

■問 環境課環境班 ☎内線1153・1155・1156

葬祭費申請のお知らせ(国民健康保険・後期高齢者医療保険)

今回の災害で亡くなった方の葬祭費の申請を受け付けします。申請者は葬祭執行者となります。しかし、災害で葬儀を行っていない場合は、死亡届出者または死体火葬、埋葬許可証申請者のいずれかの方でも可能です。

■必要なもの 1.印鑑(認印) 2.申請者の通帳(申請者以外であれば委任状が必要) 3.葬儀を行っている場合は会葬御礼のハガキ

■場所 本庁舎市民課保険年金班 ■支給方法 口座振込

■問 市民課保険年金班 ☎内線1119

災害弔慰金、災害障害見舞金申請の受付中

災害弔慰金

災害により亡くなられた市民の遺族に対し、災害弔慰金を支給します。

■受給遺族 配偶者、子、父母、孫、祖父母

■弔慰金額 ア.生計を主として維持していた方が死亡した場合 500万円
イ.その他の方が死亡した場合 250万円 ■支給時期 未定

■受付期限 4月4日(月)～当分の間 9時～17時まで

災害障害見舞金

災害により精神または身体に重度の障害を受けた市民に対し、災害障害見舞金を支給します。

■受給者 災害により重度な障害を受けた方

■見舞金額 ア.生計を主として維持していた方が重度の障害を受けた場合 250万円 イ.その他の方の場合 125万円 ■支給時期 未定

■受付期限 4月4日(月)～当分の間 9時～17時

●場所 市役所本庁舎1階 福祉課

●問 福祉課福祉総務班 ☎内線1172～1174

災害援護資金貸付申し込みを受付中

災害により負傷または住居・家財に被害を受けた世帯の世帯主で、一定の所得要件を満たしている方に対し、生活再建の資金貸付を行います(事務所・借家の建物などの事業用財産は、対象外)。

■対象 災害により負傷または住宅、家財に被害を受けた方

■受付期間 4月18日(月)～6月30日(木) 9時～17時

■場所 市役所本庁舎1階 福祉課

■貸付限度額 最高350万円(負傷または住宅の被害程度に応じて)

■償還期間 10年(内3年間据置) ■利率 3%

■連帯保証人 市内在住の連帯保証人が1人必要です。

■貸付時期 内容を審査後、貸付者に直接決定を連絡します。

■問 福祉課福祉総務班 ☎内線1172～1174

庁舎移転のお知らせ

4月25日(月)から仙台法務局石巻支局は、下記の場所に移転しました。



■問 仙台法務局石巻支局 ☎0225-22-6188
〒986-0861 石巻市蛇田字新大塚98番地1

土・日・祝日は住民異動の手続きができません

現在、市民課では土・日・祝日の諸証明の発行業務を行っていますが、住民異動業務は他の市町村が休みのため手続きができませんので、ご注意ください。

■手続きできない業務 転入・転出・転居の届出、後期高齢者保険証の再交付、国民年金関係の手続き

■問 市民課窓口サービス班 ☎内線1122

民間賃貸住宅入居世帯を応急仮設住宅扱います

応急仮設住宅の入居要件を満たす方で、すでに民間住宅に入居している方(4月22日以前に入居契約済)は、条件を満たせば宮城県で借上し、応急仮設住宅として2年以内で家賃を負担することになりました。

■問 福祉課福祉総務班 ☎内線1172～1174

応急仮設住宅の建設予定

現在、予定している応急仮設住宅の建設は、下記のとおりです。

■応急仮設住宅の建設(所在地エリアおよび仕様)予定

●種別・建設予定地区・建設候補地・予定戸数

①プレハブ住宅(小野・野蒜地区)ひびき工業団地ほか 250戸

②プレハブ住宅(宮戸地区)宮戸小学校ほか 120戸

③プレハブ住宅(矢本・大曲地区)矢本運動公園ほか 650戸

④プレハブ住宅(赤井地区)赤井市民センター駐車場ほか 50戸

⑤プレハブ住宅(大塩地区)グリーントウンやもとほか 860戸

⑥雇用促進住宅(矢本地区)仙石線鹿妻駅付近 50戸

⑦民間賃貸住宅(市外)大崎市(旧古川市内外)ほか100戸

■入居予定

1) 第1次建設完成分入居予定(大塩地区)グリーントウンやもと112戸 5月上旬

2) 第2次建設完成分入居予定(小野地区)ひびき工業団地154戸 5月中旬

3) 第3次建設完成分入居予定(大塩地区)グリーントウンやもと165戸 5月下旬

※入居決定した方には個別に連絡します。また、当選結果は市役所に掲示します。

■応急仮設住宅の入居期間

入居可能期間は、原則2年間です

■応急仮設住宅入居費用

・住宅使用料…無料

・光熱水費(電気・ガス・水道料金など)…自己負担

・修繕費用など…入居者の不注意などにより修繕が生じた場合は自己負担

その他の場合(例:災害による修繕など)は無料

■問 震災復旧対策室 ☎内線1422～1425

福祉課福祉総務班 ☎内線1172・1173・1174

平成22年度軽自動車税納税証明書(継続検査用)の有効期限延長

市が課税する平成22年度軽自動車税納税証明書(継続検査用)の有効期限は平成23年5月1日となっておりますが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の対応として、有効期限を「平成23年8月30日」に延長して使用できるようになりました。

※現在お持ちの平成22年度軽自動車税納税証明書(継続検査用)はそのまま使用できますので、車検更新を予定している方は大切に保管してください。

■問 税務課住民税班 ☎内線1138・1139

震災復旧対策室を設置

市では、東日本大震災被害の復旧を進めるため、新たに震災復旧対策室を設置し、被災者生活再建支援金制度などの申請受付を行っています。

■問 震災復旧対策室 ☎内線1422～1425

被災関係の移動相談を開催

■実施内容 災害総合案内、り災証明書および被災証明書・被災者生活再建支援金の申請受付、写真プリント無償サービス

■日時・場所 9時～15時

5月9日(月) 午前:松島町品井沼農村環境改善センター
/午後:松島町手樽地域交流センター

10日(火) 大塚地区センター

11日(水) 午前:美里町南郷体育館

/午後:美里町下二郷コミュニティセンター

12日(木) 大崎市鳴子農民の家

13日(金) 赤井地区市民センター

14日(土) 赤井地区体育館

15日(日) 牛網地区学習等供用施設

16日(月) 午前:浅井地区センター/午後:川下地区センター

17日(火) 午前:中下地区センター/午後:定林寺

18日(水) 大塩市民センター

■問 震災復旧対策室 ☎内線1422～1425

予防接種と住民検診は当分の間延期

今回の災害により、予定していた各種予防接種と住民検診は、しばらくの間延期します。予定については今後決まり次第、対象者や市報を通じ周知します。

なお、通知などの送付先に変更がある場合(避難所・親類縁者宅などにいる場合)は郵便局に「転送届」を出すと、通知が届きやすくなります。

■問 健康推進課健康推進班 ☎内線3109・3110

食中毒に注意を!

だんだん暖かい季節になり、食中毒への注意がより必要になります。家庭などで備蓄している食品の状態を、改めて確認ください。

ミヤコーバス臨時バス「仙台～石巻便(矢本経由)」の運行

ミヤコー臨時バスの石巻地区便を増発し、経路も変更になりました(1日当たり24往復運行)。なお、満席の場合には乗車できませんので、ご注意ください。また、交通状況により大幅に遅延する場合があります。詳しくは(株)ミヤコーバスまで問い合わせください。

■運行期間 当分の間、毎日運行

■停留所 混乱防止のため、以下の箇所に限定

- ・仙台側「仙台駅前」(通常の高速「仙台・石巻線」と同じ青葉通りさくら野前33番のりば)
・石巻側「矢本・東松島市コミュニティセンター前」、「大街道新橋」、「イオン石巻」、「蛇田歩道橋」、「石巻駅前(3番のりば)」、「石巻専修大学」

■運行時刻 ●石巻行き

- ※仙台駅前は、青葉通り さくら野前 33番のりばから発車
※矢本～石巻専修大学間は、降車のみ取り扱い
※土曜・日曜・祝日は、石巻駅前～石巻専修大学間を区間運休

●仙台行き

- ※石巻駅前、3番のりばから発車
※石巻専修大学～矢本間は、乗車のみ取り扱い
※土曜・日曜・祝日は、石巻専修大学～石巻駅前間を区間運休

■運賃(小児半額)

Table with 4 columns: 区間, 片道運賃 (大人, 小児), 回数券(2枚綴り) 大人, 回数券(10枚綴り) 大人. Rows include 仙台～矢本・大街道新橋間 and 仙台～イオン石巻・石巻専修大学間.

※通常の高速「仙台・石巻線」と同額

■その他 1)予約制ではないので、並んだ順の乗車になります 2)経路変更に伴い、矢本地区への臨時バスは4月10日(日)で運行を終了しています

■乗車券販売 窓口・バス車内で販売します

■問 (株)ミヤコーバス本社 ☎022-771-5310(平日9時～17時30分)

■石巻行き

Table showing departure times from 仙台駅前 to 石巻専修大学 for the Miyako Bus service.

■仙台行き

Table showing departure times from 石巻専修大学 to 仙台駅前 for the Miyako Bus service.

J R 臨時代行バス運行 (石巻駅～東塩釜駅間)

■期間 4月19日(火)～当面の間

■区間 J R 仙石線石巻駅～市内J R 各駅(下表参照)～東塩釜駅

■料金 J Rの切符を車内で購入(定期券も可)

■運行時刻 下記の表のとおり

■定員 50人程度

■問 (株)J R 東日本 列車運行確認専用電話(6時～24時) ☎050-2016-1600

■石巻駅 → 東塩釜駅方面 行き

Table of JR bus departure times from 石巻駅 to 東塩釜駅方面.

■東塩釜駅 → 石巻駅方面 行き

Table of JR bus departure times from 東塩釜駅 to 石巻駅方面.

※ご乗車の際は、あらかじめJR線のきっぷを買い求めてください。(定期券でも利用できます。) ※Suica(スイカ)などのIC乗車券類は定期券のみ利用できます。 ※各便とも台数に限りがありますのでご注意ください。 ※道路事情などにより、遅れが発生しますのでご注意ください。(列車や他の代行バスとの接続は実施していません。)

東松島市の人口 (平成23年4月1日現在の住民基本台帳)

男 20,706(-393) 女 21,571(-472) 計 42,277(-865)

世帯数 14,904(-176)

()内は前月比

広告

編集と発行: 東松島市総務課秘書広報班 制作: 石巻日日新聞社
東松島市役所
〒981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸 36-1
TEL: 0225-82-1111 FAX: 0225-82-8143
[秘書広報班メールアドレス]
koho@city.higashimatsushima.miyagi.jp
[東松島市ホームページ]
http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp



Advertisement for SPEEDY30分車検 and COOP Miyagi. Includes logos, phone number 87-3818, and address information for 有鳴瀬島山自動車.